

〔国際会議発表〕

発表研究者	和歌山大学大学院 システム工学研究科 博士後期課程 信川 輝吉	2042114
参加会議	International Symposium on Optical Memory 2014	
出張期間	2014年10月19日～10月24日	
開催場所	新竹市 台湾	
発表論文	Shift multiplexing with uncorrelated computer-generated reference patterns in coaxial holographic storage コアキシャルホログラフィックメモリにおける相関のない計算機生成参照光パターンを用いたシフト多重記録	

概 要：

本国際会議に参加する目的は、ホログラフィックメモリの大容量化手法を発表し、その研究内容に関して他の研究グループの研究者と議論をおこなうことである。本国際会議では、光メモリ分野で活躍する企業や大学の研究者が一堂に会しているため、ホログラフィックメモリや光メモリに関して活発に議論を交わすことができる。また、他の研究グループの最先端の研究動向・成果を知ることができ、今後、申請者の研究を進展する上で有意義な情報を収集できる格好の機会でもある。

本国際会議に参加して得られた成果は、光メモリ分野の研究者に申請者の研究成果を広めることができたことである。研究発表を通して、ホログラフィックメモリの大容量化を実現する一手法として、計算機合成ホログラムの応用が有用であることを示した。発表終了後にも、複数の研究者と議論を交わすことができ有用なコメントや情報を得ることができた。本研究発表で Best Student Paper Award を受賞することができた。初めての口頭による英語の発表であったが、光メモリ分野の権威ある本国際会議で受賞できたことは大変光栄であり、自信にもなった。

また、他の研究グループの研究成果を聴講し、今後の研究のための知見を得ることができた。本国際会議では、光メモリ技術だけでなく、デジタルホログラフィ、分光イメージング、コンピュータイシヨナルフォトグラフィ、高速イメージングなど、イメージング技術に関するセッションや、光メモリ技術をバイオ分野に応用する講演が行われ、興味深く、刺激的な研究発表を多く聴講できた。

本国際会議に参加して得たものは多く、より一層、研究に邁進したいと気持ちを新たにした。今回、本国際会議に参加するためのご支援を頂いたことに心より感謝いたします。